

Proceedings of the 3rd Annual Meeting
of Japan Society of Neurosurgery for Dementia 2019

第3回日本脳神経外科認知症学会 学術総会講演集

脳神経外科医における認知症診療の問題点と対応

会 期：2019年9月7日(土)・8日(日)

会 長：吉井 與志彦

(琉球大学名誉教授, 筑波記念病院 もの忘れ診療センター長)

副会長：松村 明

(筑波大学医学医療系 脳神経外科 教授)

会 場：つくば国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3

TEL: 029-861-0001 (代) <https://www.epochal.or.jp/>

主 催：日本脳神経外科認知症学会

日本脳神経外科認知症学会 学会事務局

関西医科大学 脳神経外科 研究室内

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

後 援：茨城県医師会, つくば市医師会, つくば市, 筑波記念会

第3回日本脳神経外科認知症学会学術総会 開催事務局

筑波記念病院

〒300-2622 茨城県つくば市要1187-299 TEL: 029-864-1212 FAX: 029-864-8135

E-mail: jsnd3-tsukuba@tsukuba-kinen.or.jp

第3回日本脳神経外科認知症学会学術総会 学会運営事務局

株式会社コンベックス

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-12-1 虎ノ門ワイコービル TEL: 03-5425-1603 FAX: 03-5425-1605

E-mail: jsnd2019@convex.co.jp

第3回日本脳神経外科認知症学会学術総会ホームページ

<http://jsnd2019.umin.jp/>

第3回 日本脳神経外科認知症学会学術総会 Proceedings 序文

令和元年9月7, 8日つくば国際会議場にて第3回日本脳神経外科認知症学会を開催しました。本プロシーディングは、第3回日本脳神経外科認知症学会学術総会の講演記録であります。第3回学術総会の主題は「脳神経外科医における認知症診療の問題点と対応」としました。認知症病態の理解・対応の再確認を主題にもやもやした知識を一度整理して、さらなる診療発展へと向かう必要があると考えましたが、各演者のご講演は、本主題に合致したものであると確信しました。

さて最近の朗報は早期アルツハイマー病の症状悪化を抑制する新薬承認の動きが米国から発信されたことでした。認知症治療に新たな展開が期待されますが、本邦での使用にはまだ数年かかりそうです。新たな期待を持ちつつ、我々は従来通りの誠実な認知症診療を維持・発展していくのは言うまでもありません。

本邦は高齢社会となり、認知症患者増加に伴う、認知症専門医が少なく、脳神経外科医による認知症診療は社会的な要請でもあり、また期待もされております。「脳・脊髄に生じる疾患の予防、急性期治療、慢性期治療」を網羅的に行う「外科医の目と技を持った神経系総合医」であるべき脳神経外科医が、脳機能の奥深さを探求し、その障害の一つである、認知機能低下症・認知症を真摯に勉強し、その結果を治療に反映することは我々の使命であり、責任でもあります。

本プロシーディングを参考にして、「認知機能障害疾患」を是非とも脳神経外科診療領域の一つとして実践していただければ幸いです。

本プロシーディング作成にあたり、脳神経外科医による学術総会であることに鑑み、企画講演、一般演題で、脳神経外科医によって発表された演者に講演内容の原稿を依頼しました。学術総会で聞き漏らしたご講演を本誌で参考にしていただければ幸いです。

最後になりましたが、お忙しい中、ご協力いただきました演者の方に、改めて御礼申し上げます。有難うございました。

第3回日本脳神経外科認知症学会学術総会

会長 吉井 興志彦

(琉球大学名誉教授, 筑波記念病院 もの忘れ診療センター長)